

編集後記

今年の扉では、一〇〇巻の表紙の中から十二冊を選び、毎号紹介していく予定です。今月は第九巻（明治四十二年）の表紙です。この巻には、倉橋惣三の文章が初めて掲載されました。また、この前年から和田実が編集にあたっています。

*

創刊一〇〇巻を記念して、今月号は、本田和子先生に書いていただきました。

先生は「雑誌の運命」と題されたその文章の中で、「雑誌の使命と性格は、それを読む者たちが、読むことを媒介として、「思い巡らし」、そのことに「沈潜し」「思いを深める」

ことにあるのではないか」（本誌十一頁）、と書かれています。

これを読んでいると、私自身が子育てに忙しかった頃の事を思い出しました。

私は、新聞を読むのもままならなかったこの時期も、本誌の読者でした。月に一度この雑誌を読むと、わが子と初めて出会ったときの初心に戻ったような気がしたものでした。そして、目の前の生活とその初心との落差に気づかされ、その日はいつもがっかりして過ごしました。けれども、その新鮮さも数日のことだけで、またもとの忙しさに追われる毎日でした。

そんな中で、本誌を読むことで、月に一度でも初心に戻ることができたことをいまさらながらありがたかったと思います。

(A)

幼児の教育

第一〇〇巻 第二号

(二〇〇一年二月号)

定価五五〇円（本体五二四円）

発行 平成十三年二月一日

編集兼発行人 田代和美

発行所 日本幼稚園協会

〒112-8610 東京都文京区大塚二-1-1

お茶の水女子大学附属幼稚園内

印刷所 図書印刷株式会社

〒108-8620 東京都港区三田五-1-1

発売所 株式会社 フレーベル館

〒113-8611 東京都文京区本駒込

六一四一九

☎〇三三五三九五五六一三（営業）

☎〇三三五三九五五六〇四（編集）

振替 〇〇一九〇一-二一九六四〇

☆ 本誌ご購入のご注文は発売所「フレーベル館」にお願いします。

☆ 万一、乱丁・落丁などがございましたら、おとりかえいたします。